

## 1 国語に関する調査

### 【特長】

- 二つの資料を読み、それぞれの資料の目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約をする力が身に付いている。説明文の学習の中で、内容の中心となる語や文を考えさせたり、文学的な文章においてあらすじを捉える活動を取り入れたりしてきた成果と考えられる。
- 様々な場面で、文を書くときには既習の漢字を使うことを指導してきたことにより、送り仮名に注意して、漢字を文の中で正しく使うことができている。

### 【課題】

- 図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題がある。様々な文章を読むことで効果的な書き表し方に触れ、目的に応じて書く学習に取り組む必要がある。
- 資料を読み、理解したことに基づいて自分の考えをもち、まとめることに課題がある。文章を読んで、理解した内容について既習の知識や経験、友達の話などと結び付けて考える活動を積み重ねることで、自分の考えをもち、まとめられるようにしたい。

## 2 算数に関する調査

### 【特長】

- 伴って変わる二つの数量について、表から変化の特徴を読み取り、表の中の知りたい数を求めることができている。
- 正方形の意味や性質について理解している。身の回りにある正方形を探したり、具体物を操作して正方形を作ったりするなど、体験的な活動を取り入れてきた成果と考えられる。

### 【課題】

- 高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述することに課題がある。知識を習得させるだけでなく、図や既習の言葉を使いながら、自分の考えを表現する活動を積み重ねていく必要がある。
- 2位数÷1位数の筆算の仕方を説明した図を基に、各段階の商の意味を考えることに課題がある。筆算の仕方を習熟させるだけでなく、計算の成り立つ性質について理解できるよう、問題場面の数量の関係に着目したり、計算の結果を振り返ったりする学習を進めていく必要がある。

### 3 児童質問紙の結果より

#### 【特長】

- 「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思う」と回答した児童が多い。各児童の実態に応じて、児童の身近な事象を基に考えさせるなど、丁寧に指導をしてきた成果だと考える。
- 「学校に行くのは楽しい」「普段の生活の中で幸せな気持ちになることがある」「友達関係に満足している」と回答した児童が多い。良好な人間関係をつくりながら充実した学校生活を送っていると考えられる。

#### 【課題】

- 「国語の勉強は大切だ」と回答している児童の割合が高い一方で、「国語の勉強は好きだ」と回答した児童の割合が低い。児童の実態に応じた学習展開の工夫が必要である。
- 「いじめは、どんな理由があってもいけないことだ」と捉えていない児童が少数いることが気になる。すべての教育活動を通して、いじめ防止の意識を高め、全ての児童が「いじめはいけない」と捉えられるようにしたい。

### 授業・学校生活の充実に向けた取組

- どの教科でも最初に学習目標を提示し、最後に振り返りを行うことで、その時間に身に付けるべき学習内容を明確にする。
- 自分の考えをもてるようにするだけでなく、その考えを文章で的確に表現できるように指導していく。
- 児童一人一人が自分のよさを発揮し、互いのよさを認め合えるような学校になるように、教師が励まし、児童同士が互いに認め合える場や表現し合える機会を大事にしていく。
- 児童の発達に応じて自主学習ノートなどを活用し、自主的に学習する力や計画的に学習する力の向上を図る。また、どの学年でも基礎基本が定着するように家庭学習の習慣を身に付けさせる。

### ご家庭で取り組んでいただきたいこと・地域の方に知っておいていただきたいこと

- 早寝・早起き、朝食をとるなど基本的な生活習慣が身に付くように今後ともご協力をお願いします。また、テレビの視聴時間、ゲームやスマートフォンなどの使用について、家庭内のルールをお子さんと再確認してください。
- 家庭学習においては、宿題など与えられたものだけでなく、予習・復習などで自分なりの学習の仕方を身に付けることができるよう、ご家庭でも働きかけをお願いします。
- 本校の重点目標に「挨拶は心の握手」を掲げています。挨拶は人と人をつなぎます。学校、家庭、地域で挨拶の輪を広げ、豊かな心を育てていきましょう。